

消防年報 2022

令和4年版



埼玉西部消防局

表紙の写真

「30m級はしご付消防自動車（飯能梯子1）を更新」（左上）

令和4年3月に飯能日高消防署の30m級はしご付消防自動車（飯能梯子1）を更新しました。

この車両は、中高層建物における消火活動や各種人命救助活動に対応します。

「水難救助訓練」（左下）

令和3年8月入間川において水難救助訓練を実施しました。

埼玉西部消防局では、水難救助に特化した水難救助隊を入間消防署に配置しています。

水難救助隊は、水難救助事案発生に際し、安全、確実及び迅速な活動ができるよう定期的に訓練を実施しています。

「令和3年度新規採用職員研修（実技訓練）」（右上）

令和3年4月14日から令和3年4月23日までの間、令和3年度新規採用職員37人を対象に、令和3年度新規採用職員研修（実技訓練）を実施しました。

この訓練は、新規採用職員を対象に、それぞれの配属先に配置される前に、必要な知識・技術を習得させるために実施しています。

「高規格救急自動車を更新」（右下）

令和4年1月に、所沢中央消防署山口分署、狭山消防署及び飯能日高消防署の高規格救急自動車を更新しました。

埼玉西部消防局では、合計26台の高規格救急自動車を配置しています。

（写真：左から救急飯能1、救急狭山2、救急山口1）

裏表紙の写真

「埼玉西部消防局エンブレム」

中央の消防章は、雪の結晶の拡大図を基礎とし、これに日章を中心として水管、管そう、筒先から放出する水柱を配置したものです。また、消防章を囲む5本の炎は、組合発足時の構成5市（所沢市、飯能市、狭山市、入間市及び日高市）による消防の任務に対する情熱、熱意、調和、団結を表しています。